

# 審判委員と競技(コート)委員の役割・連携について

時 間	チ ャ ム	審判員	コート委員
1	準備・待機	・スコアシートの準備。 ・ネットの高さや張り具合、アンテナの位置などチェックする。	コートチェックと用具の確認をする ・試合球 ・ボール拭き ・ボールスタンド ・フラッグ ・カード ・ブザー ・得点板 ・チーム名盤 ・ネット ・白帯 ・アンテナ ・ラインテープ
2	第1試合プロトコール開始5分前	競技エリアの外で待機する。審判員とともにコートに入り、練習を開始する。ネットは使用しない。	審判員に、コート入場OKの合図を送る。チームの持ち込み備品等の確認。プロトコールまでにラインジャッジが来ない場合は、放送での呼び出しを依頼する。
3	プロトコール	トスをし、監督とキャプテンはサインをする。ユニフォームで公式練習に入る。ラインナップシートを提出する。	ユニフォームやチームの持ち込み備品確認
4	試合中	ゲームコントロール	コートサイドで待機する。 コート、用具の不具合を発見した場合や審判員の呼び出しに対応する。
5	第1試合終了	○試合終了のチーム監督と審判は握手する。 キャプテンのサイン後は、速やかにベンチから退出する。※ラインジャッジや得点などの割り当て準備をする。	キャプテンのサイン後は、チームは速やかに競技エリア外に出るよう促す。  コート、用具の確認、及びチーム名盤の入れ替えをする。  フラッグを回収し、消毒をする。
6	第2試合プロトコール開始5分前	○次試合のチーム競技エリアの外で待機。審判員とともにコートに入り、練習を開始する。	審判員に、コート入場OKの合図を送る。 担当審判員と当該チームにプロトコール開始時刻を連絡する。

以降 3～6のくり返りで進める。

6の時間について

※連続試合となる場合には、試合間を15分空けることができる。

※プロトコールの設定時刻は5分単位で行う。例：前の試合が10:12終了の場合、10:20もしくは10:25からプロトコールに入る。